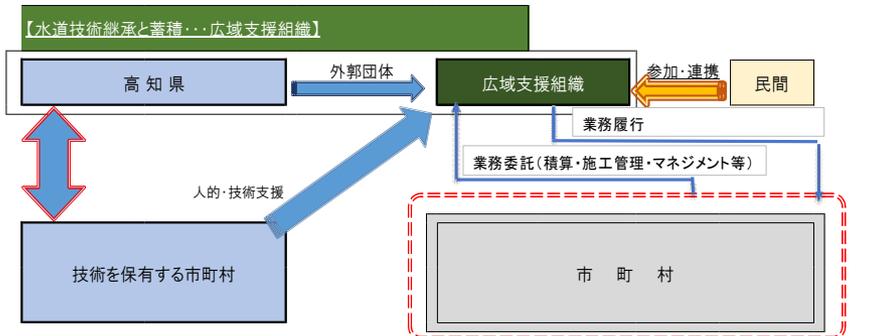


【策定目的】現状を踏まえ、将来の水道のあり方を示し、持続可能な水道の構築

【基本理念】未来へつなぐ、自然の恵み豊かな高知の水道

【基本方針】安全で強靱かつ持続可能な水道の実現に向け、水道基盤の強化を図る

柱立て	現状	施策目標（課題）	水道事業者	高知県	目標設定
安全 清浄な水源から安心・安全な水道	(1)水道システムの水質監視 ・水源汚染リスクや水質悪化の把握、対策が遅れている。	【安全な水道①】 ・水源から給水栓までの水質の安全が確保された水道の維持	①作成支援ツール等を活用した水安全計画の策定	①水安全計画策定に必要な情報の提供や計画立案方法の助言	水安全計画策定率 (算式) 策定市町村/33市町村 【設定値】 現況 中間目標 最終目標 (R1) (R6) (R11) クリプトスポリジウム対策実施率 (算式) 対策実施施設/対策必要施設
	(2)クリプトスポリジウム等の汚染リスクに対応した浄水処理 ・浄水処理は、概ね適正であるが、クリプトスポリジウム等の汚染リスクに対し、未対策施設あり。	【安全な水道②】 ・クリプトスポリジウム等に対応できる水道の構築	①クリプトスポリジウム対策等による浄水処理の適正化	①浄水処理導入における指導や技術的な助言(国庫補助金の活用等を含む)	69% 100% 100%
	(3)給水サービスの向上 ・給水装置工事事業者の事業実態の把握が十分でなく、所在不明の事業者が存在する。	【安全な水道③】 ・給水栓における安全が確保された水道の構築	①更新制導入による指定給水装置工事事業者の資質向上(広域連携)	①講習会の開催の助言や圏域毎で実施できる場、必要情報の提供	—
強靱 災害に負けない、しなやかな水道	(1)強靱な水道システムの構築 ・耐震化事業への取り組みが遅れている。 ・津波、土砂災害対策は全体的に未着手。 ・南海トラフ地震被害想定において、本県は被害直後の断水率が99%、1ヶ月後の断水率51%。	【強靱な水道①】 ・自然災害に強い水道の構築	①浄水施設、配水池、基幹管路等の耐震化	①ハザードマップなどの被害想定の基本情報を提供。国庫補助金等の活用についての助言	【設定値】 現況 中間目標 最終目標 (R1) (R6) (R11) 耐震化計画策定率 (算式) 策定市町村/33市町村 基幹管路の耐震適合率 (算式) 耐震適合性のある基幹管路延長/基幹管路総延長 ※耐震適合率は上水道事業のみ
	(2)事業継続の強化 ・非常時の事業継続の対策が遅れている。 ・災害用資機材の備蓄量が不足。 ・災害時の市町村間の連携が不足。	【強靱な水道②】 ・災害が発生した際に、迅速に応急給水や応急復旧できる水道の構築	①BCP簡易様式等の活用や県外受援も考慮した「水道BCP」の策定 ②災害時の応急資機材確保(広域連携)	①水道BCPの考え方や様式を水道事業体に提示訓練等運営し、BCPの実行性を高めるための支援。広域的な災害も想定し、県として調整 ②緊急用資機材(タンク等)整備の補助制度創設検討	水道BCP策定率 (算式) 策定市町村/33市町村
持続 健全かつ安定的な事業運営の水道	(1)運営基盤の強化 ・有収率が上水道で90%を下回り、簡易水道で80%を下回る低い水準。 ・施設や管路の適切な把握やそれを基にした将来事業量の把握や対策が遅れている。	【持続する水道①】 ・健全かつ安定的な水道経営の達成	①簡易ツール等を活用したアセットマネジメントの導入 ②水道施設台帳の整備及びシステム化の実施(広域連携) ③広域化推進プランの活用	①アセットマネジメント3.0導入における助言、簡易ツールや各水道事業者の取り組み状況などの情報提供 ②水道施設台帳の整備及びシステム化における指導や助言、情報提供 ③市町村の意向を尊重しつつ、経営統合を含めた広域化の検討(広域連携)	【設定値】 現況 中間目標 最終目標 (R1) (R6) (R11) アセットマネジメント導入率(タイプ3C) (算式) AM導入市町村/33市町村 ※簡易水道事業は1Aでも可 水道施設台帳整備率 (算式) 水道施設台帳整備市町村/33市町村
	(2)水道技術の継承と事業運営の効率化 ・高知市圏域を除き、全体的に職員数が不足し、また技術職員数も少ないため、職務上の負担が大きく、技術の継承、人材育成が不十分。	【持続する水道②】 ・水道技術が確保され、維持管理の体制や仕組みが適切に構築された水道の達成	①水道業務の受け皿となる支援組織のための検討に協力する。	①水道業務の受け皿となる支援組織の機能拡張※	—
	(3)水道利用者サービスの向上 ・水道イベントや災害訓練など住民とのコミュニケーションへの取り組みは少ない状況。	【持続する水道③】 ・地域住民に開かれた水道の達成	①現状の取り組みの共有や日常の接点を活かした地域住民との対話	①情報交換の結果などによる有益な情報などの共有	—



## ■フォローアップ

- ビジョンに掲げた実現方策を県・市町村が実施
- 「高知県水道ビジョン推進委員会」を設置し、委員会で進捗管理
- 推進部会で各種水道事業者の取組支援を継続

○今後、県庁内外の関係部局と具体的な検討を行う。

※目的:水道技術力低下の未然防止として広域支援組織における技術のストックを促進する。